



ほり ぐち じゅん や  
**堀 口 順 也**

こうめいとう ぎいんだん  
公明党議員団

### 胃がん予防にピロリ菌 無料検査の実施を

**問** 胃がんは日本人が最も多くかかり、年間12万人余りが発症、死者数は年間約5万人と推定。がんによる死因では肺がんに次いで2位である。がん全体における胃がんの罹患者数は、男性では1番多く、女性でも2番目に多い。胃がんの98%はピロリ菌によって発生することが明らかで、国内では約3,500万人が感染していると見られる。  
ピロリ菌除菌で胃がん撲滅を。

**答** ピロリ菌の感染は胃がんのリスク要因とされており、ピロリ菌検査については、胃がんになりやすい状態にあるのかを把握することを目的としている。  
現在、津市では厚生労働省の指針に基づく胃X線検査及び検査方法の中では精度が高いと言われている胃内視鏡検査を実施しており、がんの早期発見、早期治療を目的とした検診に取り組んでいるが、ピロリ菌検査を他の検診と併用で実施を始めている自治体もあることから、国の動向も注視しながら、効果的な検診のあり方について検討していく。また、検査の結果ピロリ菌が見つかり除菌をしても胃がんを全て予防できるものではなく、定期的に胃がん検診を受けてもらうことが大事であると考えている。

### ●その他の質疑・質問●

○市民マラソンを旧10市町村で開催し「マラソンラリー」に  
○うつ対策・自殺予防対策に、「こころの体温計」の導入を  
○赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心触れ合うきっかけに「ブックスタート」の導入を  
○外見では分からない方々が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることができる「ヘルプマーク」の導入を など



▲健康促進・市民交流・地域活性化になるマラソンラリーを



つじ みつこ  
**辻 美津子**

しみんくらぶ  
市民クラブ

### 久居駅周辺のまちづくりについて

**問** (仮称)津市久居ホールの整備検討の進捗状況及び津市久居市民会館の跡地利用の検討状況は。  
また、現在、整備中の新・久居庁舎の整備状況について、どのような施設内容となるのか。  
さらに、市民の皆さんへの周知については。

**答** (仮称)津市久居ホールの整備については、有識者委員会により施設の規模や機能などを検討中であり、平成26年度には整備用地の測量調査を行った。平成27年度から設計、平成29年度から本体工事を行う予定である。ホールにはギャラリーなどを併設し、広く文化関係の皆様にご利用いただける施設を目指す。  
津市久居市民会館の跡地利用については、平成27年度に解体設計、平成28年度に解体工事を行い、取り壊し後は市民の交流広場として整備する予定である。  
また、新・久居庁舎については、久居総合支所、久居保健センター、津南工事事務所等として整備し、ポルタひさいふれあいセンターもリニューアルする。  
市民には、広報津や市HP、久居地域だよりで周知を行う。

### ●その他の質疑・質問●

○職務経験者の採用について  
・応募の状況と採用後の配置は  
○メンタルヘルスについて  
・休んでいる職員数と原因は  
・休んだ職員の業務対応は  
・復帰後の配置は  
○障がい者福祉について  
・精神障がい者に対する医療費助成の拡充は  
・知的障がい者の入所施設の待機者数と整備の現状は など



▲にぎわいづくりや交流の拡大に寄与する久居駅周辺整備を